

GUITAR GEARS 2011-2012

ロック・シーン注目の楽器・大試奏会!

2011年の楽器シーンも、最新技術が盛り込まれたものやヴィンテージを追求する楽器、プロ指向モデルなど、プレイヤー魂を刺激するモデルが多かった。WeROCKでは、こうした数多くの新製品の中から、ギターやアンプ、エフェクターなど、ギタリスト向けの楽器にスポットを当てて、試奏を行なった。年末年始の楽器選びに活用してほしい!



今回試奏したモデルには、上記のようなマークを付けています。これは、それぞれの楽器がどのような指向を持っているのかをわかりやすくするため、編集部が判断して付けました。購入する際は、ぜひぜひ参考にしてください!

KILLER

最高級のトーンを生む、高崎 晃、最新モデル

2011年後半となったこの時期に、キラール・ギターよりラウドネスのデビュー30周年、そして高崎 晃の生誕50周年を記念したモデルが2本発売された。“ギター・ギアーズ2011-2012”、まずは、この高級感あふれる2本の試奏からいってみよう!

キラール

**KG-PRIME
GLORY
LINE**
¥609,000

●ボディ(ウイング):ライト・アッシュ(1弦側)、ホワイト・アッシュ(6弦側) ●ネック:ハード・メイプル、スルーネック ●指板:メイプル ●ピックアップ:セイモア・ダンカン製SH-2n JAZZ(フロント)、TB-14 CUSTOM 5(リア) ●ブリッジ:フロイド・ローズ・オリジナル ●コントロール:ヴォリューム、3ウェイ・ピックアップ・セレクター ●カラー:グローリー・ライン



キラール

**KG-PRIME
BIRTH
AXE 222**
¥795,000

●ボディ:コア・トップ+アッシュ・バック、フレイルム・メイプル ●ネック:ハード・メイプル、ボルト・オン ●指板:フレイルム・メイプル ●ピックアップ:セイモア・ダンカン製SH-2n JAZZ(フロント)、TB-14 CUSTOM 5(リア) ●ブリッジ:フロイド・ローズ・オリジナル ●コントロール:ヴォリューム、3ウェイ・ピックアップ・セレクター ●カラー:シールズ・レッド ●限定30本



↑本人使用モデルのためか、より実戦的に、フロント・ピックアップのまわりにハウリング防止のスポンジがカマされていた



↑ネックは、VUシェイプで、どのポジションでも抜群の弾き心地を提供してくれる



↑トップ材が合材になっているのわかるだろうか? 高級感あふれるトーンを生む要因か!?



↑エスカッションも木材でできているというこだわりよう。さすが、値段だけのことはある

試奏!

前号025で高崎本人のコメントを交えて紹介したキラールのラウドネス・デビュー30周年記念モデルKG-PRIME GLORY LINE。2011年に発売されたキラールのモデルの中でも、まさに記念となるギターだと思っていたが、じつは、さらに隠し玉があった! それが、KG-PRIME BIRTH AXE222、高崎 晃生誕50周年を記念するモデルである。さっそく、編集部では、この2本を試奏するためメーカーに向かったのだが、そこに用意されていたのは市販モデルではなく、高崎本人が愛用している2本! これからリハーサルに届ける直前

という、まさに本人ドンズバのモデルであった。

まずは、GLORY LINEから弾いてみた。持ってみると、意外なほどのボディの軽さに驚かされる。高崎本人が“どことなくレスポール・カスタムを彷彿とさせる”と言っていたので、レスポールなみの重量感かと思いきや、かなり取り回しにいいバランスだ。その扱いやすさもありつつ、さすがPRIME、とにかく弾く姿勢で持ってみてもバランスが最高である。ギターを持っているという感覚がないぐらい、フィット感があるのだ。サウンドは、ハイのさらに上、プレゼンスあたりが際立ったトーンに感じられた。このぐらいハイのヌケがいいと、太い弦を張り、ロー・チューニングにしても、バンドで埋もれず前に出てくる音を出してくれるだろう。

続いて、BITRH AXE 222。こちらは、ズッシリとした重量感のあるギターだ。持った感じは、PRIMEのシグネチャー・モデルに近い感触を受けた。聞くところによると、コアという材が、じつに希少価値のあるもので、今回、限定30本となっているのも、30本分しか作れる材を確保できなかったからだという。ネックがスルーネックのように見えるが、スルーではなく、これも材の在庫の問題から、つなぎ合わせて作ったために、そういう見え方になったのだという。そして、この材を絶妙に合わせたことが功を奏したのか、とにかく値段相応の高級感あるトーンを出してくれる。ミッドのふくよかさ、低音の鳴り、そして高音のヌケ……などなど、文句のつけどころのない音だ。とにかく、ピックアップの立ち上がりの速さには驚かされる。他のギターと比べると、ピックアップする前から鳴っているような感覚なのだ。恐るべしKG-PRIME、恐るべしキラール・ギター!